

京都市会だより

第47号

平成20年(2008年)
11月15日発行

発行/京都市会
編集/市会事務局
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
TEL.075(222)3697
FAX.075(222)3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



御池通のアイランドレイク(水の浮島)

病院・水道・下水道・市バス・地下鉄
平成19年度公営企業決算を認定
公営企業の健全な経営に向け、活発な議論

9月市会定例会

9月定例会は、9月4日から10月3日までの30日間開かれ、市長提出議案34件、議員提出議案11件を審議しました。

市長提出議案のうち、病院事業など公営企業会計等の平成19年度決算8件については、公営企業等決算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、すべて認定しました。平成20年度一般会計の補正予算など3件についても、普通予算特別委員会及び公営企業等予算特別委員会を設置して付託・審査のうえ、原案のとおり可決しました。

また、都市計画関係手数料条例の一部改正など議案19件については、それぞれの担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

さらに、発生物学者である岡田節人氏の名譽市民の表彰など議案4件についても原案のとおり可決しました。議員提出議案については、非食用事故米の不正規流通事件に関する意見書など11件の議案すべてを原案のとおり可決しました。

経過

9月4日	本会議	会期の決定、議案の提案説明など
9月8日 9月9日	本会議	議案の処理、公営企業等決算特別委員会の設置、代表質問など
9月8日 10月12日 16~19日 22・24日 10月2日	公営企業等 決算特別委員会	正副委員長の互選、各公営企業会計等の決算の審査など
9月8日 25日 10月2日	公営企業等 予算特別委員会 普通予算 特別委員会	正副委員長の互選、公営企業会計補正予算の審査など 正副委員長の互選、一般会計補正予算の審査など
9月26日 29日 10月2日	常任委員会	付託議案や請願の審査など
10月3日	本会議	決算の認定、議案の議決など

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

平成20年度一般会計補正予算(2件)

原油等価格高騰対策に要する経費のほか、地下鉄東西線の第三セクター区間を直営化することに係る経費等を補正するもので、補正総額は412億4千万円です。

下京涉成小学校新築工事請負契約の締結

下京涉成小学校を新築するため、工事契約を締結しようとするものです。同小学校は、下京区の六条院植柳、崇仁の3小学校を統合するもので、平成22年4月の開校に向けて新校舎を整備します。

〔公営企業会計決算の概要〕

病院事業
総収益は入院収益の増加等により、141億4千1百万円(対前年度比24%の増)となり、総費用は手術等にかかる材料費の増加などにより、141億8千5百万円となりました。この結果、4千4百万円の赤字となり、累積赤字は5億2千4百万円となりました。

水道事業
減価償却対象の見直し等による特別利益が生じたことなどにより、総収益は313億9百万円(対前年度比0.8%の増)と増加する一方、企業債支払利息の減少等により、総費用は306億8百万円と減少しました。この結果、7億1百万円と2年ぶりの黒字となり、累積黒字は54億2千8百万円となりました。

公共下水道事業
総収益は下水道使用料収入の減少等により、502億5千8百万円(対前年度比0.9%の減)となり、総費用は企業債支払利息の減少等により、493億9千6百万円となりました。この結果、8億6千2百万円と7年連続の黒字となり、累積赤字は21億2千2百万円

となりました。

自動車運送(バス)事業

総収益は運送収益や一般会計補助金の増加等により、224億3千7百万円(対前年度比22%の増)となり、総費用は原油価格の高騰による燃料費の増加等により、215億5千4百万円となりました。この結果、8億8千3百万円と5年連続の黒字となり、累積赤字は122億2千1百万円となりました。

高速鉄道(地下鉄)事業

地下鉄東西線二条・太秦天神川間開通などによる一般旅客数の増加等により、総収益は257億4千万円(対前年度比27%の増)と増加する一方、企業債支払利息の減少等により、総費用は416億1千5百万円と減少しました。この結果、前年度に比べ改善は見られたものの158億7千5百万円の赤字となり、累積赤字は2千898億7千2百万円となりました。

〔このほか地域水道、京北地域水道、特定環境保全公共下水道の各特別会計についても、審議を行いました。〕